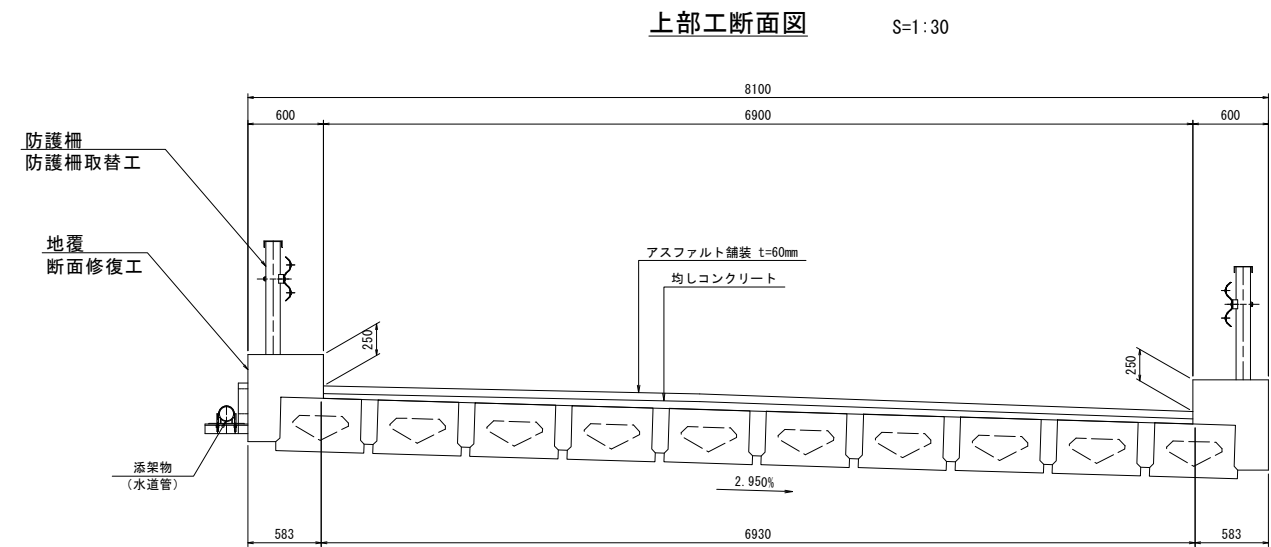
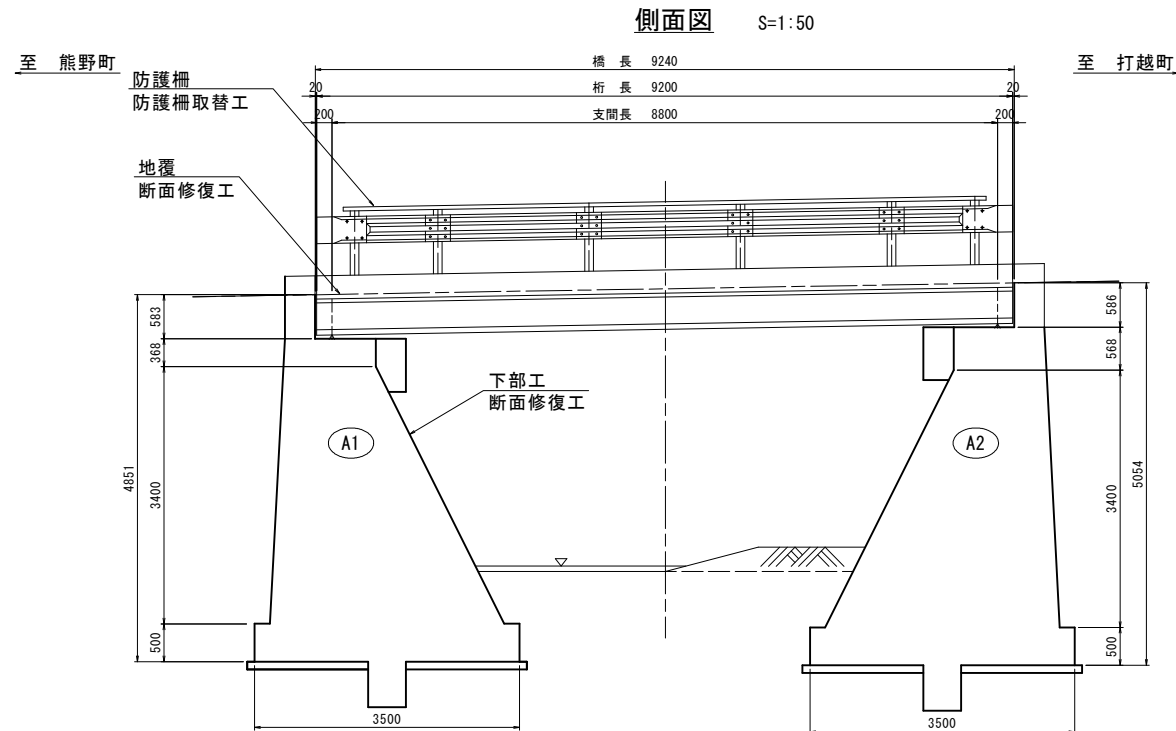
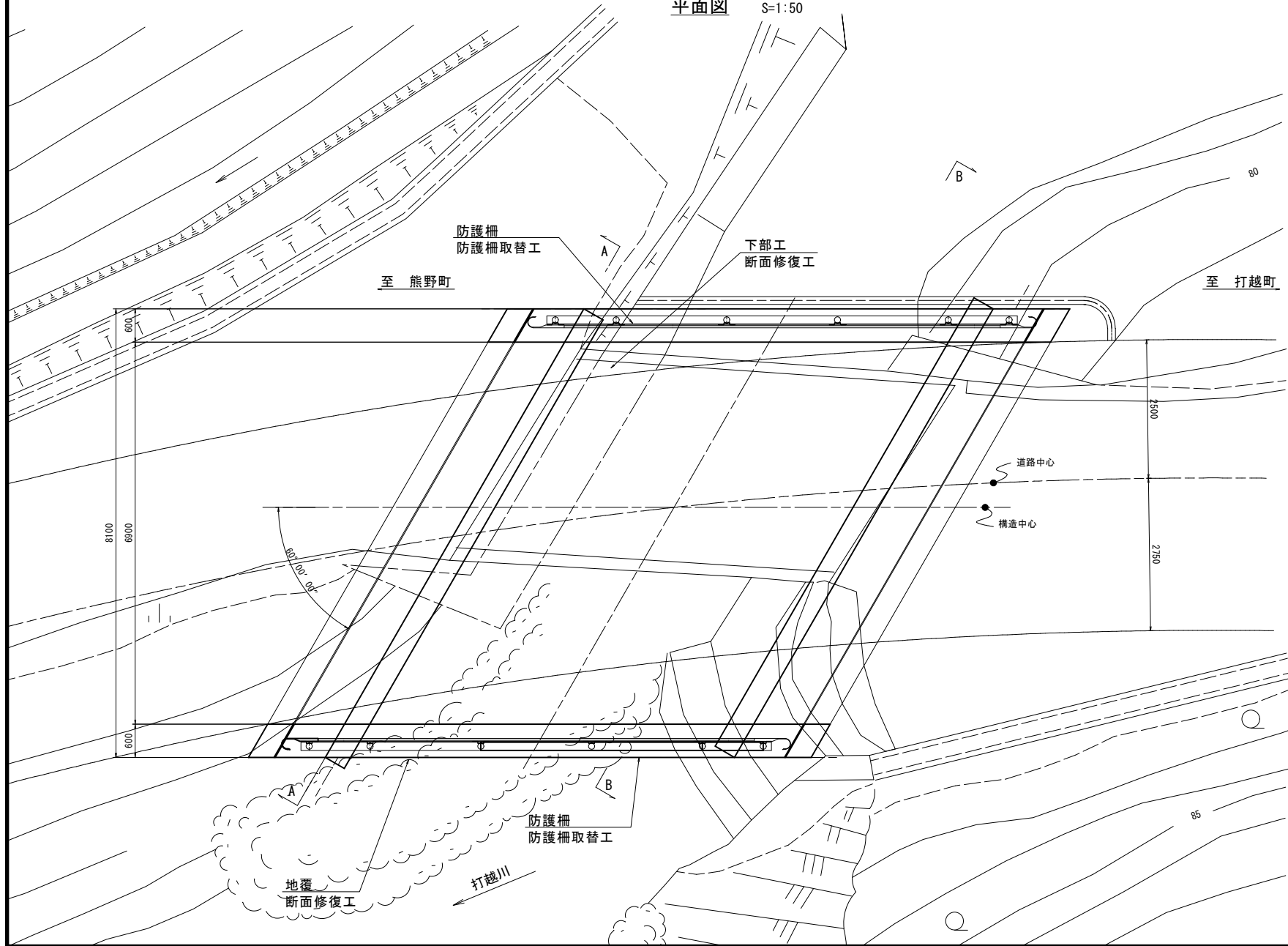


復旧一般図



※橋梁図はH23年度輪島市橋梁耐震対策工事設計業務委託(その8)より引用

平面図 S=1:50



橋梁諸元

道路規格	3種5級 (V=20km/h)
橋梁型式	プレテンション方式単純スラブ桁
橋長	9.240m (道路中心線9,933m)
桁長	9.200m
支間長	8.800m
全幅員	8.100m
有効幅員	6.900m
荷重	TL-20
雪荷重	100kgf/cm2
斜角	左 60° -00'
上部工コンクリート	主桁 δ ck=500kgf/cm2、場所打 δ ck=240kgf/cm2
PC鋼材	主桁 SWPR 7B、場所打 SBPR
橋台形式	重力式橋台
土圧	クーロンの土圧式 φ=30° γ=1.9tf/m2
下部工コンクリート	τ ck=160kgf/cm2
鉄筋	SD295A
支持地盤	軟岩
地盤の許容支持力	常時 30tf/m2 地震時 45tf/m2
設計水平震度	躯体 κH=0.14 土砂 κH=0.14
交差物件	普通河川 打越川
架設年月	1995年(平成7年)3月

復旧工法一覧表

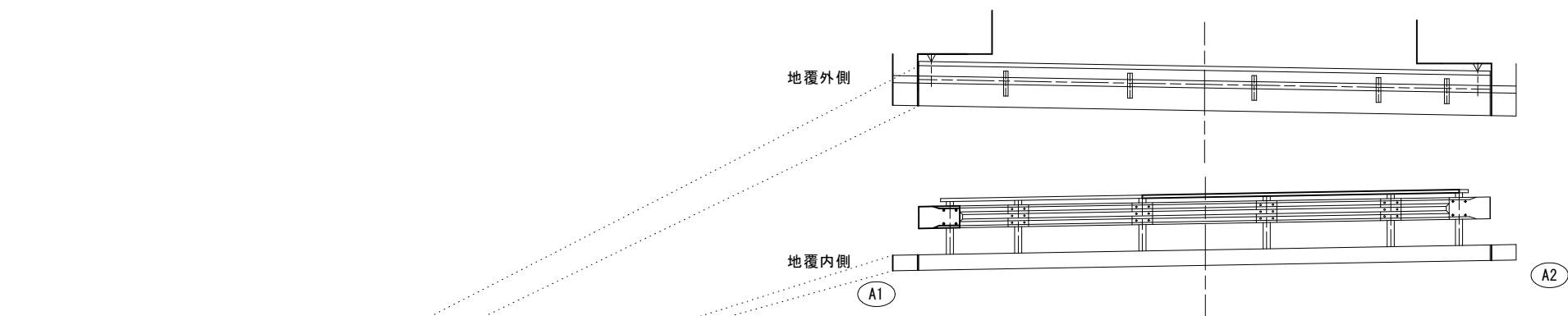
復旧対象部位	復旧工	復旧内容
下部工	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
地覆	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
防護柵	防護柵取替工	C種ガードレール

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6次 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪島市 熊野町 地内
図 名	復旧一般図
縮 尺	図示
図面番号	1 / 7 枚の内
輪 島 市	

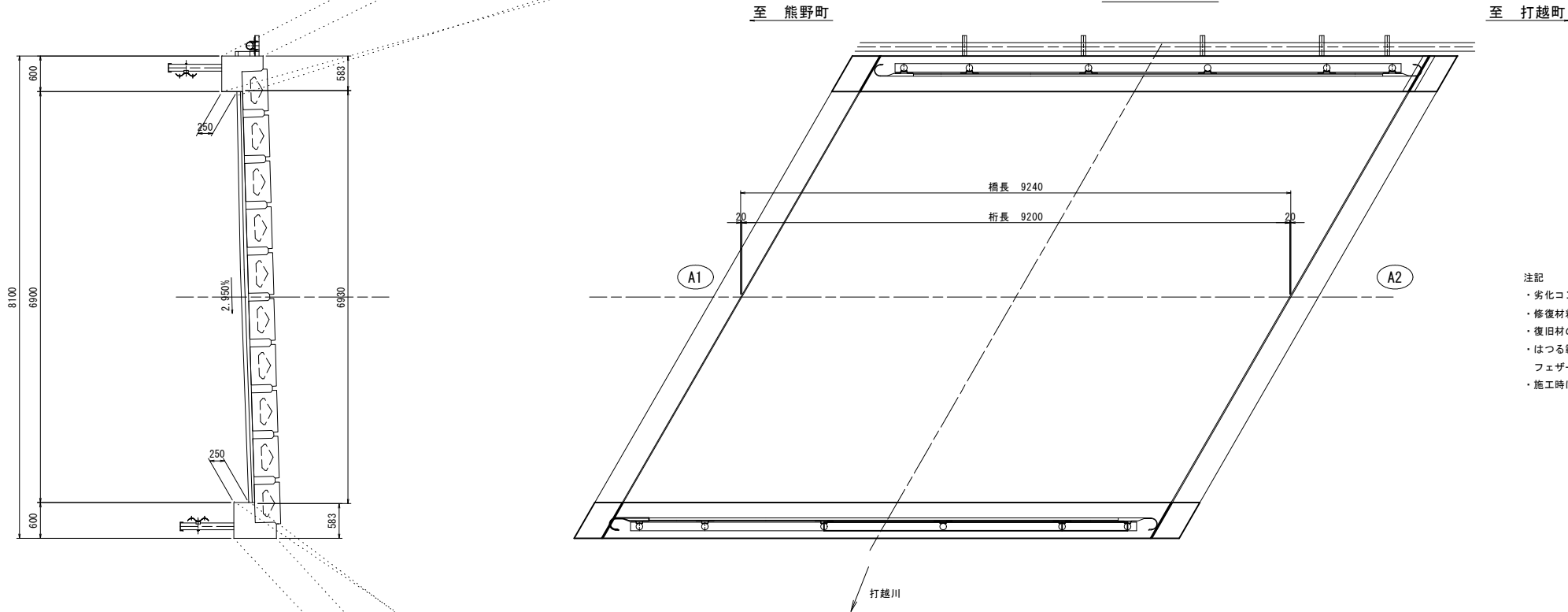
復旧図その1 S=1:50

断面修復工

上流側側面図



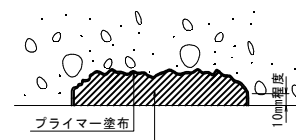
橋面平面図



断面修復詳細図

(左官工法)

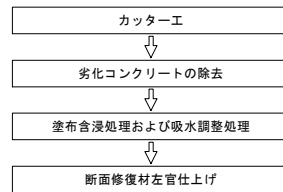
鉄筋ケレン・防錆処理含まない



注記

- ・劣化コンクリートをはつりとり、断面修復工を行う。
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・復旧材の圧縮強度は母部材24.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
- ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
- ・施工時に、復旧箇所(寸法等)を再度確認すること。

断面修復工フロー



要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (24.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

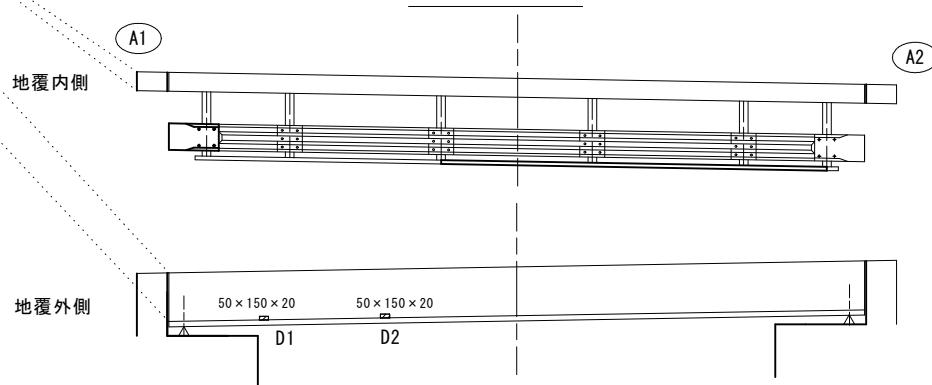
断面修復工復旧数量表

番号	復旧幅(m)	復旧長さ(m)	復旧深さ(m)	復旧体積(m ³)
D1	0.050	0.150	0.050	0.0004
D2	0.050	0.150	0.050	0.0004
復旧体積計(m ³)				0.0008

凡 例

復旧工法	記号	表示
断面修復工	D	

下流側側面図



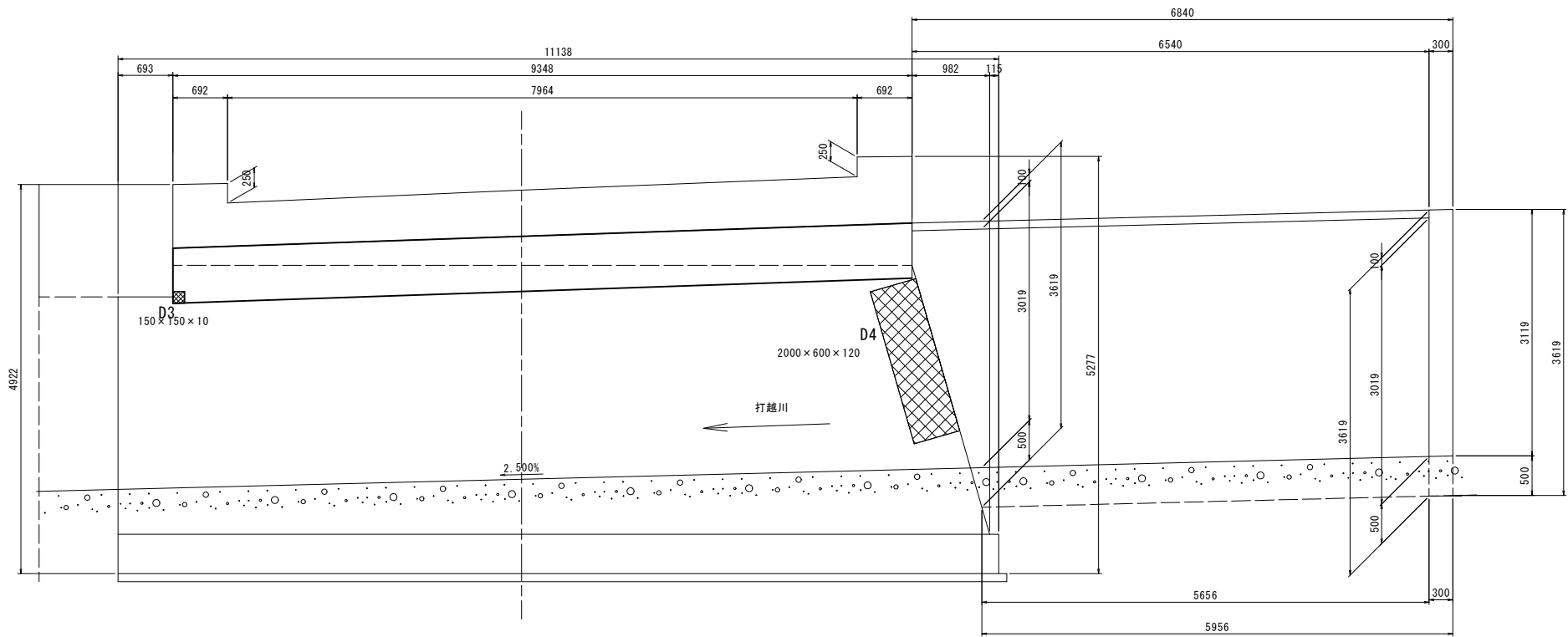
注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪島市 熊野町 地内
図 名	復旧図その1
縮 尺	S=1:50
図面番号	2 / 7 枚の内
輪 島 市	

復旧図その2 S=1:40

断面修復工

A1橋台正面図



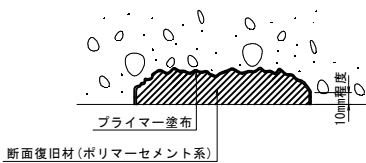
凡 例

復旧工法	記号	表示
断面修復工	D	

断面修復詳細図

(左官工法)

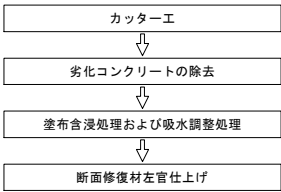
鉄筋ケレン・防錆処理含まない



注記

- ・劣化コンクリートをはつりとり、断面修復工を行う。
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・復旧材の圧縮強度は母部材24.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
- ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
- ・施工時に、復旧箇所(寸法等)を再度確認すること。

断面修復工フロー



断面修復工復旧数量表

番号	復旧幅(m)	復旧長さ(m)	復旧深さ(m)	復旧体積(m ³)
D3	0.150	0.150	0.050	0.001
D4	2.000	0.600	0.120	0.144
復旧体積計(m ³)				0.145

要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (24.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

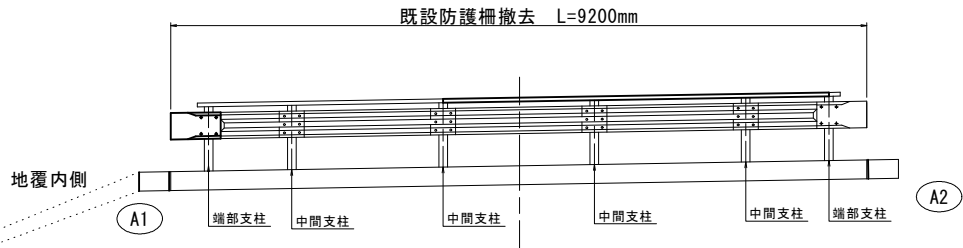
注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6次 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪 島 市 熊 野 町 地 内
図 名	復旧図その2
縮 尺	S=1:40
図面番号	3 / 7 枚の内
輪 島 市	

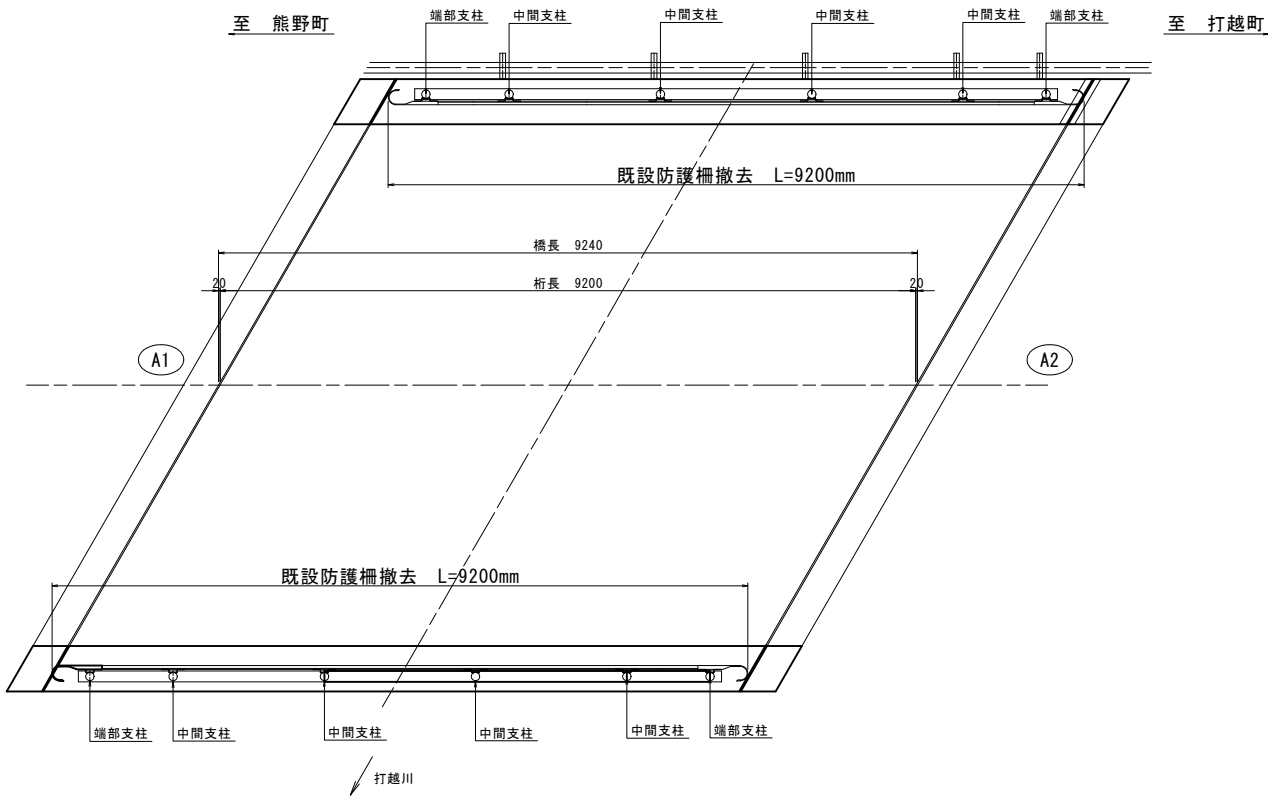
復旧図その3

防護柵取替工（既設ガードレール撤去工）

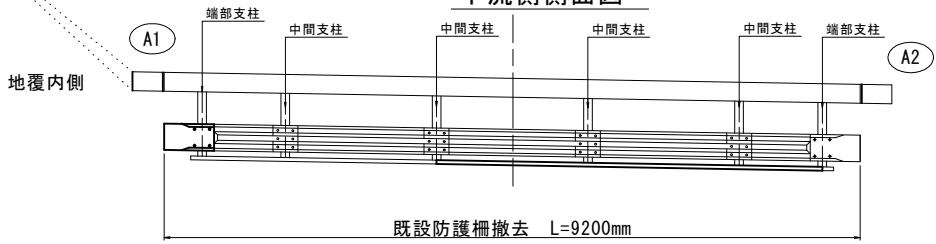
上流側側面図 S=1:50



橋面平面図



下流側側面図

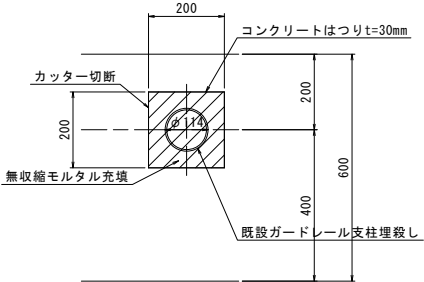


既設防護柵支柱撤去詳細図 S=1:10

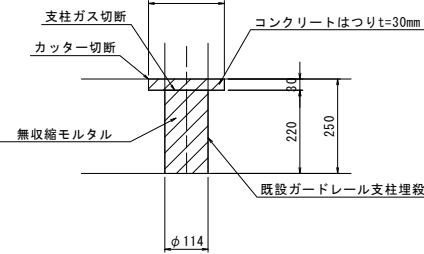
中間支柱

N=8箇所

平面図



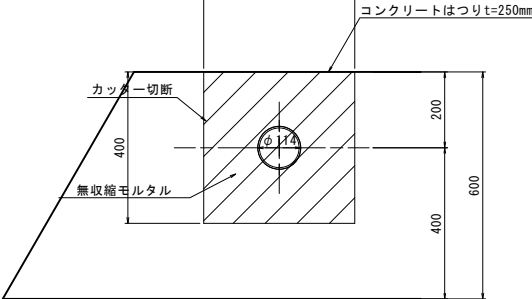
断面図



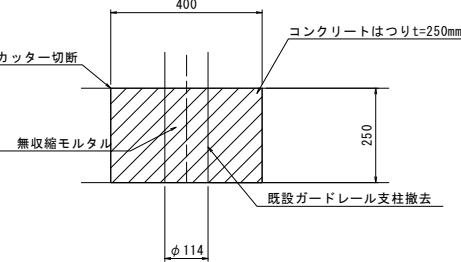
端部支柱

N=4箇所

平面図



断面図

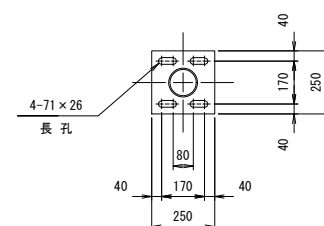
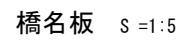


令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪 島 市 熊 野 町 地 内
図 名	復旧図その3
縮 尺	図 示
図面番号	4 / 7 枚の内
輪 島 市	

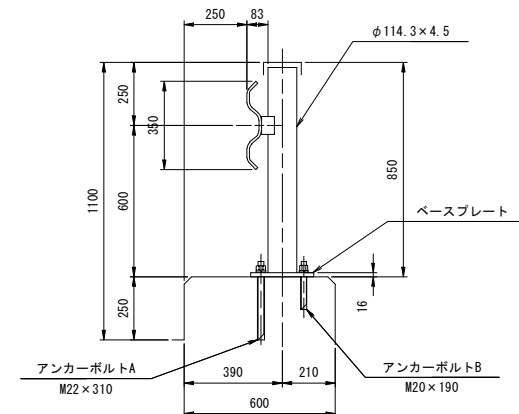
注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。

防護柵取替工（新設ガードレール設置工）
Gr-C-2B-4(ト)

寸法線はアンカー中心線上で実長を示す
()内寸法は水平長を示す



A - A 矢視



笠木取付用ボルト
M16 x 35

笠木
[150 x 50 x 3.2]

PL140 x 3.2 x 250

ブラケット取付用ボルト
M20 x 145

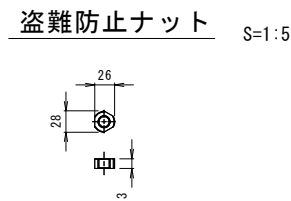
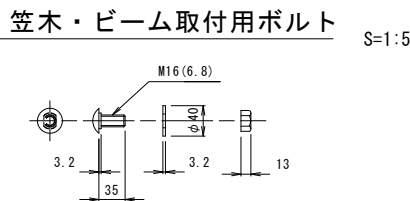
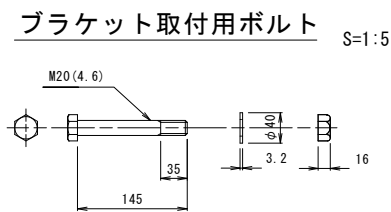
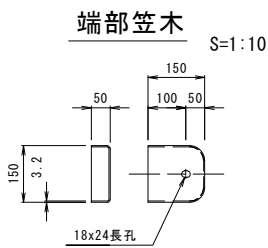
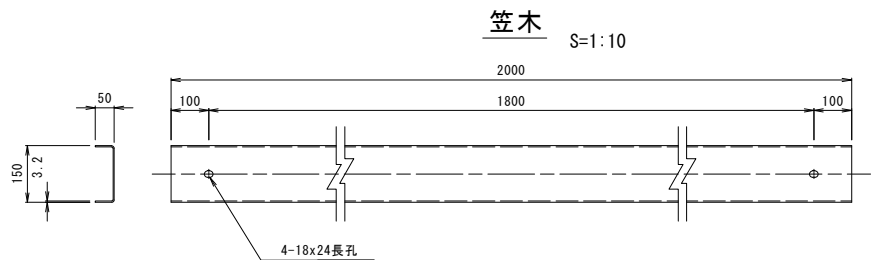
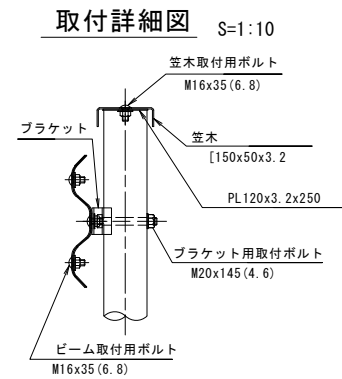
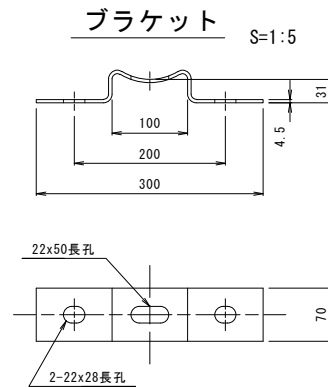
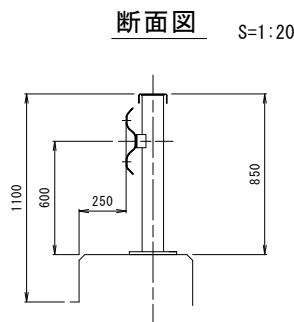
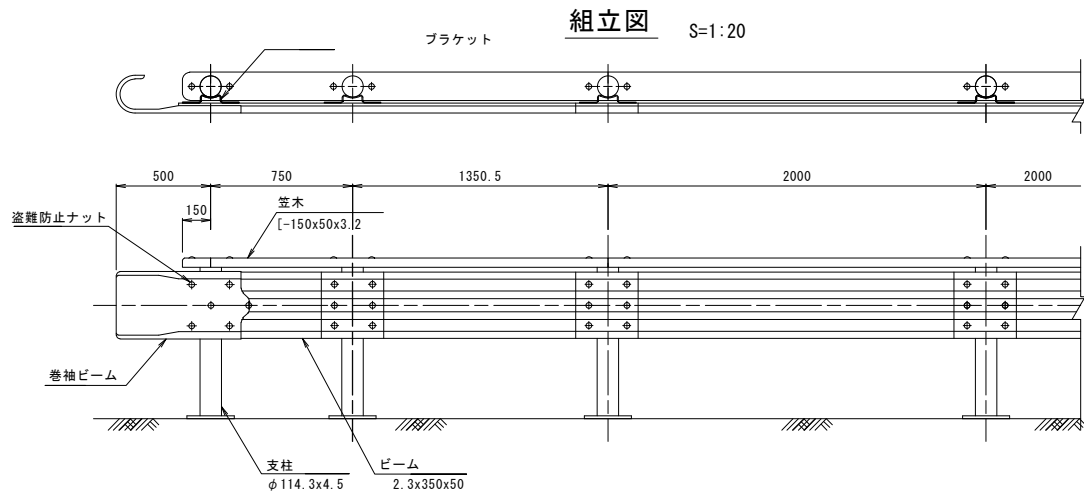
ビーム取付用ボルト
M16 x 35

1. 端部支柱は、アンカー影響範囲を考慮して、既設部分を撤去すること
2. 橋名板とガードレールの固定について、ガードレールの孔は現地で孔明け加工
3. アンカー工は地覆内の鉄筋との干渉を留意すること
4. 橋名板は既設を再利用すること

令和 8 年度		
工 事 名	令和8年度6災 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)	
路 線 名	市道熊野打越線	
箇 所	輪島市	熊野町 地内
図 名	復旧図その4	
縮 尺	図示	
図面番号	5 / 7 枚の内	
輪 島 市		

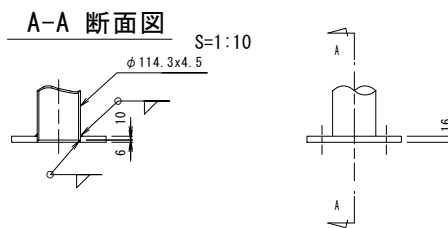
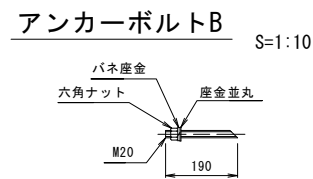
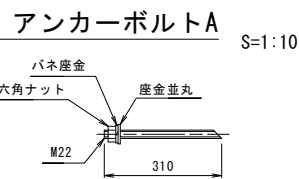
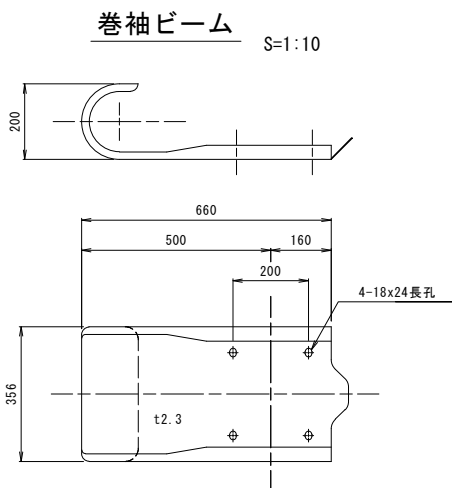
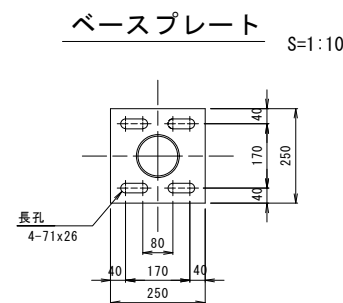
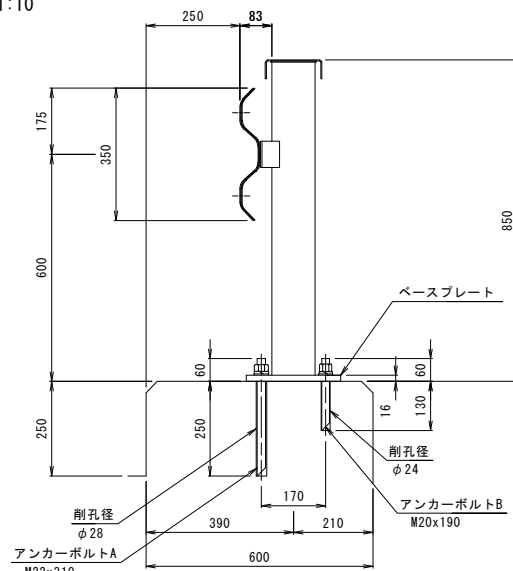
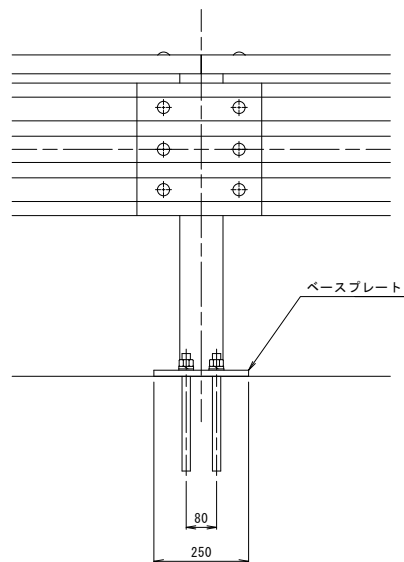
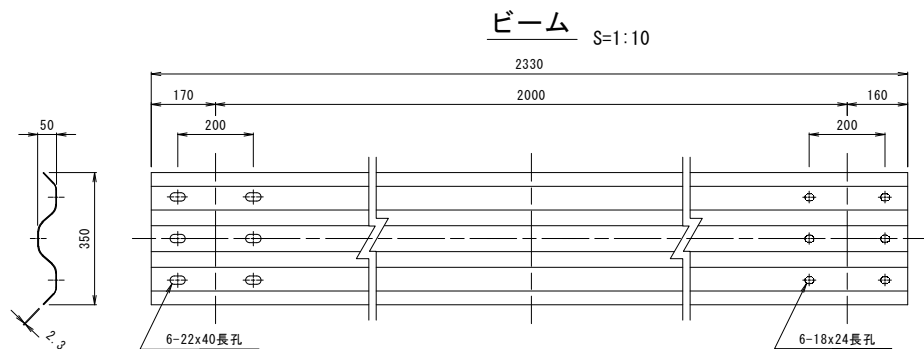
復旧図その5

防護柵取替工（新設ガードレール詳細図）



特記事項

巻袖ビーム1箇所につき1個、盗難防止ナットを取付すること



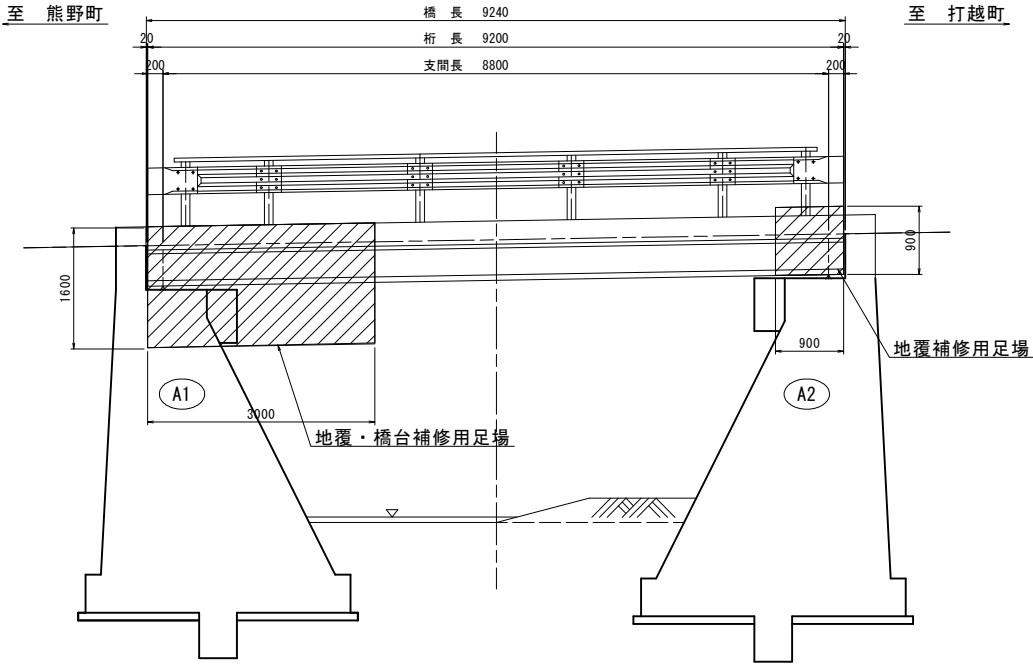
- 注記)
1. 端部支柱は、アンカー影響範囲を考慮して、既設部分を撤去すること
 2. 橋名板とガードレールの固定について、ガードレールの孔は現地で孔明け加工
 3. アンカー工は地覆内の鉄筋との干渉を留意すること

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪 島 市 熊 野 町 地 内
図 名	復旧図その5
縮 尺	図 示
図面番号	6 / 7 枚の内
輪 島 市	

仮設要領図（参考図）

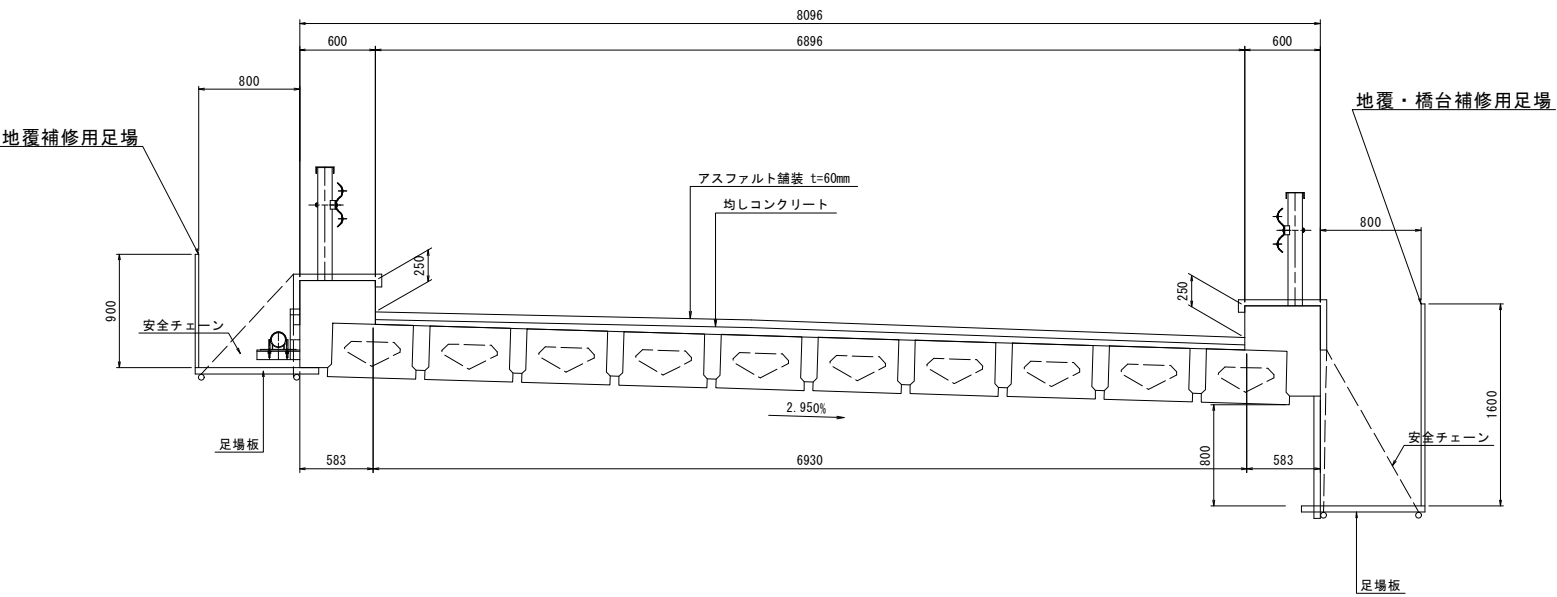
側面図

S=1:50



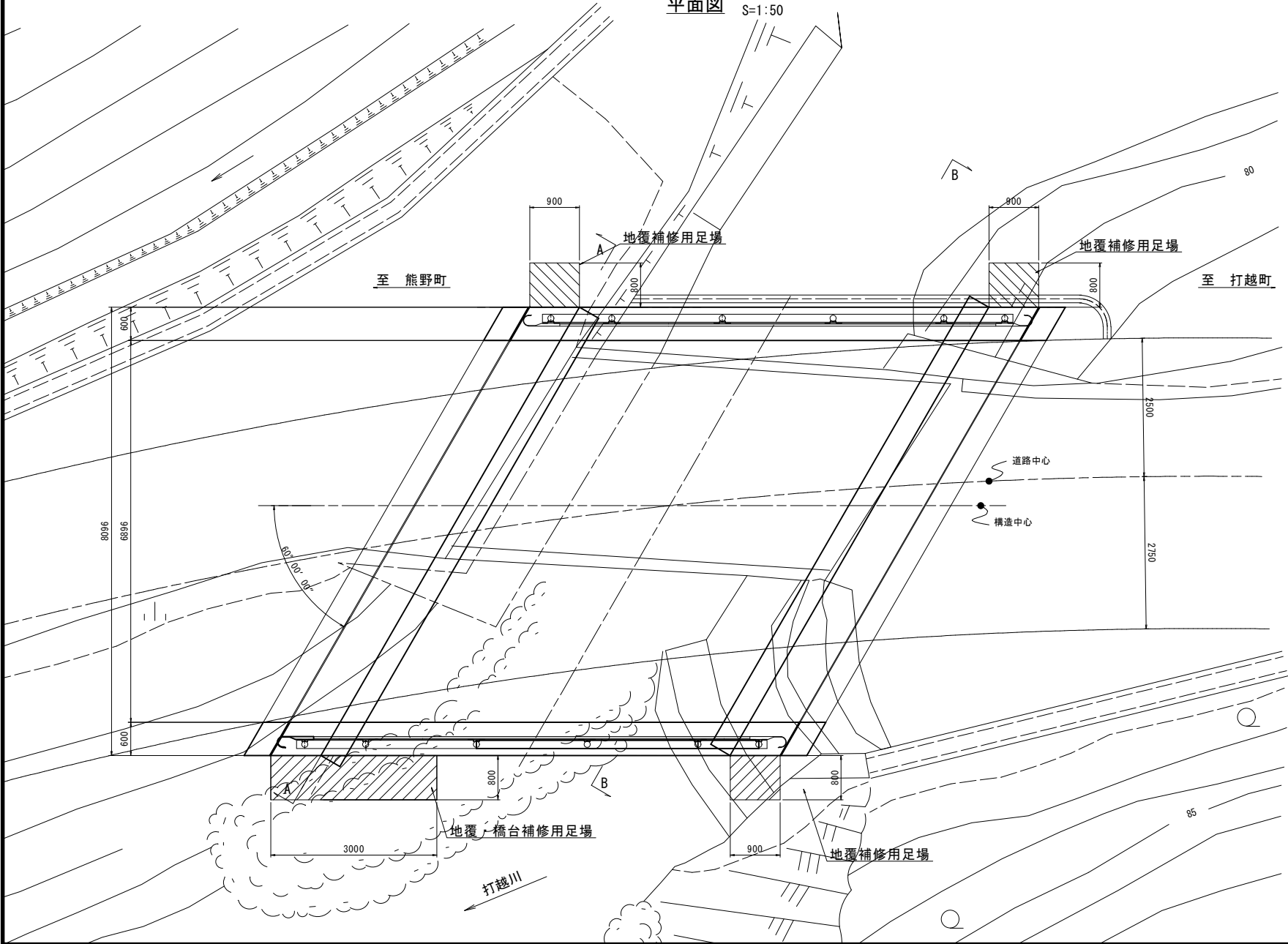
上部工断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6次 第11466号 市道熊野打越線 道路災害復旧工事(打越橋)
路 線 名	市道熊野打越線
箇 所	輪 島 市 熊 野 町 地 内
図 名	仮設要領図（参考図）
縮 尺	図 示
図面番号	7 / 7 枚の内
輪 島 市	